

大量避難民の受入れと 弁護士会の役割

ーウクライナ難民支援の在り方から学ぶー

ロシアによるウクライナ侵攻は長期化の様相を呈し、多数の避難民が発生しています。本研究会では、ウクライナの弁護士が置かれている現状、隣国ポーランドの弁護士会によるウクライナ難民支援活動、さらに日本のウクライナ難民支援活動について学びながら、今後、同様の紛争が日本の近隣諸国で勃発し、大量の避難民が逃れてきた場合、私たちが取り得る方策について考えます。奮ってご参加ください。

2022年12月7日(水) 17:00~19:00

※ZOOMウェビナー、ZOOM同時通訳(日/英)あり

ープログラム(予定)ー

1. 基調報告

「ウクライナの弁護士が置かれた現状」

Oksana Voynarovska 氏(ウクライナ弁護士会)

「ポーランドの弁護士会によるウクライナ難民支援」

Joanna Wsołek 氏(ポーランド、クラクフ弁護士会)

「日本におけるウクライナ難民支援」

赤坂むつみ氏(認定NPO法人難民支援協会)

2. 質疑応答等

申込期限:2022年12月1日(木) 参加無料・事前申込制

<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/kokusaijinken/ihr/>

上記のリンクまたは右記二次元コードからお申し込みください。

お申込みいただいた方宛てに、事務局からZOOM接続先等をメールにてお知らせいたします。

なお、当日、何らかの理由で通信が中断し、復旧困難となった場合には、やむを得ず本研究会を中止する可能性があります。また、PC環境・通信状況等の不具合については当連合会では責任を負わず、またサポート対応等も行いかねますので、予めご了承ください。参加者個人での本セミナー内容の録音・録画・キャプチャーなどを利用した記録や二次使用は固くお断り申し上げます。

(個人情報に関する記載) ご提供いただいた個人情報は、日本弁護士連合会の個人情報保護方針に従い厳重に管理し、本研究会の運営のために利用します。

